

第23回 滋賀県税制審議会

県民税事業の事業費の推移について

委員意見④：事業内容やウェイト付けについて、どのようなプロセスで意思決定されてきたのか。
委員意見⑤：琵琶湖の環境保全や水質保全等に活用していくのも一案ではないか。

滋賀県琵琶湖環境部森林政策課

琵琶湖森林づくり事業実績の推移（県民税充当額）

- 毎年度、事業実施者からヒアリングを行い、必要事業量を把握しつつ、優先順位をつけて事業費を配分。
- 顕在化してきた新たな課題への対応については、県民税の見直しのタイミング等で、懇話会、審議会、タウンミーティングなどでの議論を経て新規事業化。（ex.ニホンジカ対策H22～、災害に強い森林づくりR3～）
- 県民税を導入した際の哲学を踏まえ、事業の必要性や効果性、公益性が説明できると判断される事業の新設・拡充については、事業実施者からの意見や森林審議会での議論を踏まえ適時事業化。（ex.木育の推進R2～、全国植樹祭R1～R4）
- ここ数年は、要望額の方が大きい状態が続いており、財源が余るという状態は発生していないところ。

